

○計画期間:令和元年12月～令和7年3月(5年4か月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点(令和2年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和元年12月以降、認定基本計画に基づき「鹿嶋神宮門前エリアをまちのにぎわいと暮らしの中心に」という将来像に向けて、「魅力的な商業地の再生を中心とした、市民や周辺地域住民が日常的に訪れたいくなるまちづくり」「常陸国一之宮・鹿嶋神宮を訪れる人々を楽しく滞遊させるための魅力ある観光まちづくり」という基本方針のもとに各事業を実施している。

平成30年度には、まちづくり鹿嶋(株)が設立され、これまで、遊休不動産オーナーと新規出店を希望する事業者の橋渡しを行う、まちなか空き店舗マッチング事業を継続して実施してきており、令和元年度には、新規出店の成果が表れるなど、中心市街地での賑わいが創出されている。さらに、地域産品を活用した定例イベントであるかみの市では、認知度の向上に伴い、訪れる市民や足を止める観光客などで賑わいを見せており、活性化に向けたソフト事業の取組が効果を見せ始めている。

また、ハード事業の面では、本市の玄関口となるJR鹿嶋神宮駅の駅前広場リニューアル工事が令和2年5月末には完了する予定であり、駅周辺の活性化が期待される。その他のハード事業は、調査・設計・補償などを実施しているところであり、令和2年度以降に工事着手の予定のため、現時点では、目に見える変化は乏しい状況である。

令和元年度は、計画期間の初年度でもあることから、計画の周知と先行実施しているソフト事業の展開により、地域住民の意識改革から行っているところである。今後は、先行着手している都市再生整備計画事業でのハード整備事業の完成や、認定基本計画に基づく支援措置を活用したソフト事業が実施されることで賑わい創出につながっていくものとする。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 地域)	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	令和6年度 (最終年度)
人口	1,319	1,303					
人口増減数		▲16					
自然増減数		▲6					
社会増減数		▲10					
転入者数		57					

2. 令和元年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

鹿嶋市と鹿嶋市中心市街地活性化協議会事務局で定例会議(1回/月)を開催し、認定基本計画に位置付けた事業等の進捗状況や新規事業の計画提案などについて、情報共有を行っており、活性化に向け密接な連携を図っている。

鹿嶋市中心市街地活性化協議会事務局からは、「遊休不動産オーナーや老朽不動産オーナーから資産活用に向けた相談が増えた」「イベント協力者が増えてきた」「中心市街地活性化エリアへの出店希望事業者もヒアリングから多数いる」といった意見もいただいております。地域住民や民間事業者の意識も変わり始めているように感じる。

一方で、行政側が主体となって進める補助事業等については、「民間事業は、スピード感が重要であるため、事務手続き等の迅速対応にご協力いただきたい」との意見をいただいております。協力していくこととしている。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
人が集う魅力的な商業エリアの再生	新規出店数	7店舗/6年間 (H24-29年度)	10店舗/6年間 (R1~6年度)	2店舗/1年間 (R1年度)	C	-	①
来街者が滞遊するまちづくり	平休日平均歩行者通行量	3,260人/12h (H30.3)	4,260人/12h (R7.3)	2,878人/12h (R2.3)	C	-	②

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「新規出店数」については、目標指標として10店舗/6年間を設定しており、1年あたりでは、約1.66店舗が目標となる。今後、空き店舗のマッチングが進むにつれて借りやすい空き店舗が減っていくことも考えられるが、初年度では年間目標を上回っており、目標達成が可能であると見込まれる。

「平休日平均歩行者通行量」については、コロナウィルスの影響により、基準値を下回る結果となったが、平日の通行量については、基準値を超えていることから、市民の中心市街地への来街が増えているものと考えられる。今後、コロナウィルスが終息し、外出自粛要請が解除されれば、観光客が戻ってくることが想定され、目標達成に近づくものと思われる。

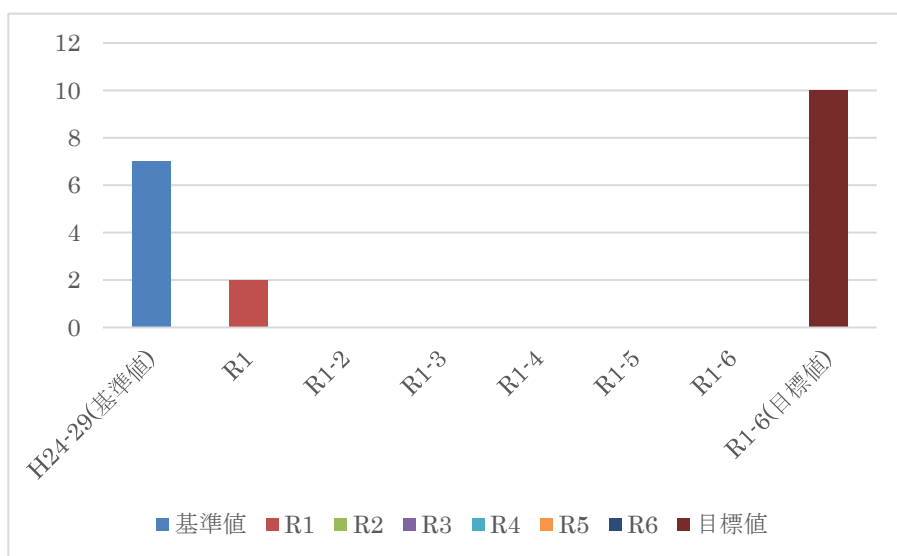
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 58～P. 59 参照

●調査結果の推移



年度	(店舗/6年間)
H24 ～29	7 (基準年値)
R1	2
R1～2	
R1～3	
R1～4	
R1～5	
R1～6	
R1～6	10 (目標値)

※調査方法：各種支援措置の適用状況や聞き取り等により新規出店数を求める

※調査月：令和2年4月

※調査主体：鹿嶋市

※調査対象：計画対象区域全域

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 鹿島神宮門前まちづくり会議（まちづくり会社）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	中心市街地活性化に関わるプレイヤー、商店主、市民有志、有識者等の幅広い参加によるまちの活性化のための意見交換の場を設ける。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	・新たなまちの担い手の育成として、ワークショップを開催し、イベント事業の取組やまちづくりに向けた取組等についての意見交換が行われたほか、鹿島神宮や香取神宮などの歴史についての講演等を実施し、活性化に向けた機運が高まっている。
事業の今後について	・定期的な意見交換会の実施により、まちづくりに関わるプレイヤーの育成が行われている。今後も継続して、活性化に向けた取組を推進する。

②. まちなか空き店舗マッチング事業（まちづくり会社）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	起業や居住を検討する方と空き店舗をマッチングする事業。中心市街地の空き店舗・空き事務所・空き家等の情報（位置・規模・構造・賃貸意向等）について、現地調査や聞き取り調査等によりデータバ

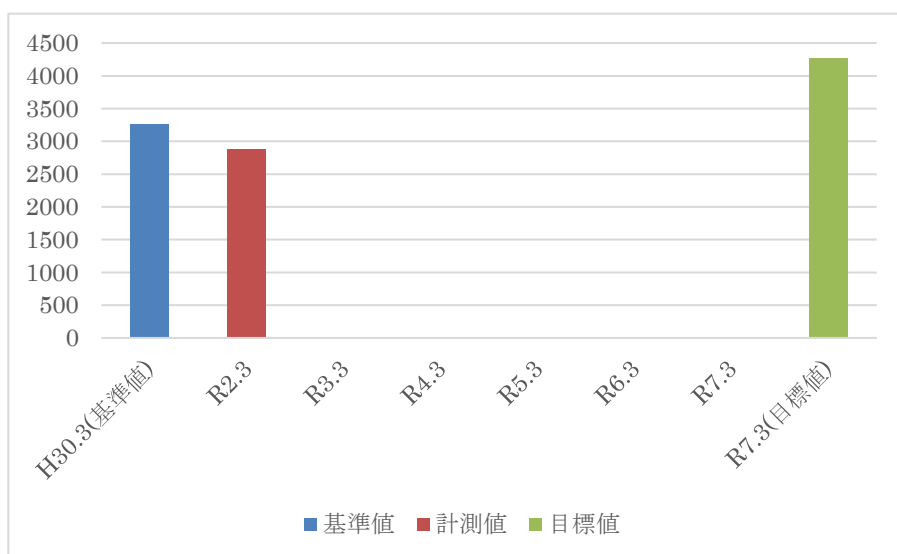
	ーす化し，出店を希望する事業者と橋渡しを行う。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（平成30年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	・対象区域の土地・建物の権利者に対し，土地活用の意向を把握するためのアンケート調査を行ったことにより，空き店舗等の活用に関する相談が寄せられ，新規出店に向けた取組に寄与した。
事業の今後について	・新規出店数は，初年度1年間で2店舗と順調に進んでいる。今後は，出店を希望する事業者とのマッチングを推進することで，新規出店数の増加を図る。

③. 空き店舗リノベーション事業（まちづくり会社，商店街組織，民間企業，特定非営利活動法人等）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】 [認定基本計画：令和2年度～令和6年度]
事業概要	店舗を開設する際に必要となる改修費用を支援する事業。中心市街地には，後継者不足等により廃業した店舗併用住宅が多いが，本事業により，現状のままでは店舗部分のみ賃貸することが難しい建物に対する店舗・住宅間の隔壁設置を支援し，空き店舗部分の活用を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし [認定基本計画：地域まちなか活性化・魅力創出支援事業補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち先導的・実証的事業（経済産業省）（令和2年度～令和6年度）]
事業効果及び進捗状況	・食べ歩きができる店舗の新規出店により，観光客等の買い回りが発生し，中心市街地の賑わいや回遊性向上に寄与した。
事業の今後について	・新規出店数は，初年度1年間で2店舗と順調に進んでいる。今後は，支援措置等の周知を図り，制度を活用した新規出店数の増加を図る。

「平休日平均歩行者通行量」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 60～P. 62 参照

●調査結果の推移



年月	(人/12h)
H30.3	3,260 (基準年値)
R2.3	2,878
R3.3	
R4.3	
R5.3	
R6.3	
R7.3	
R7.3	4,260 (目標値)

※調査方法：歩行者を4地点において、平休日の7～19時で計測

※調査月：令和2年3月

※調査主体：鹿嶋市

※調査対象：4地点（大町通り、角内通り、仲町通り、桜町通り）における歩行者（ランニング含む。自転車・軽車両は含まない。）の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

④. 鹿島神宮周辺地区再開発事業（鹿嶋市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	施設整備に伴う移転用地の確保、道路の新設・拡幅及び土地の整形化を行い、鹿島神宮と調和した街並み景観を創出して新たな土地利用の推進を図る事業。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（鹿島神宮周辺地区））（国土交通省）（平成30年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	・区画道路1号線の道路新設設計を行い、今年度道路整備を実施する。現時点では、物件移転の一部完了により道路形態が見えるところもあるが、工事着手に至っていないため、目に見える変化には乏しい。本事業の対象地は、別途主要事業として計画されている共同駐車場と門前町を繋ぐ動線上にあることから、完了時には歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	・その他の道路整備等についても、権利者交渉を引き続き行い、鹿島神宮と調和した街並み景観を創出し、回遊性向上を図る。

⑤. 交流センター整備事業（鹿嶋市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【未】
事業概要	市民や来街者が日常的に街なかで集い活動する場を整備する事業。多目的ホールでのサークル活動等による市民間交流の促進や地域産品の販売スペースの設置による地域産業振興へ寄与する。

国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（鹿島神宮周辺地区））（国土交通省）（平成30年度～令和4年度） [認定基本計画：社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（鹿島神宮周辺地区））（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）]
事業効果及び進捗状況	・令和2年度より、調査・設計等に着手する予定となっており、令和5年3月の完了を目指している。完了時には、約400人/12hの平休日平均歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	・令和2年度に調査・設計等に着手し、令和4年度に工事着工予定。

⑥. 共同駐車場整備事業（鹿嶋市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【未】 [認定基本計画：平成30年度から令和4年度]
事業概要	混雑時の臨時駐車場として利用されている第三駐車場を常設の共同駐車場として整備し、柔軟な料金設定を導入し、日常的な来街を促す。ピーク期を除く、通常時のイベント広場等としての活用も図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（鹿島神宮周辺地区））（国土交通省）（平成30年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	・交流センター、鹿嶋市歴史資料館の複合施設整備や関係権利者との調整に期間を要したため、当初計画より1年ほど遅れているが、令和2年度での、設計・工事等の完了を目指している。工事完了後には、約200台の駐車スペースを確保可能となり、まち歩きの拠点となることを見込んでいる。
事業の今後について	・令和2年度に設計・工事等に着手し、同年度完了予定。

⑦. 鹿島神宮宝物館整備事業（鹿島神宮）

事業実施期間	令和2年度～【未】
事業概要	鹿島神宮が所蔵する国宝等の宝物を公開する常設展示施設の更新整備。市が整備する歴史資料館と連携した整備・運営を行う。
国の支援措置名及び支援期間	重要文化財等（美術工芸品・民俗文化財）保存活用整備事業（文部科学省）（令和2年度～）
事業効果及び進捗状況	・市が整備する歴史資料館と連携を図ることとしており、完了時には、約400人/12hの平休日平均歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	・市が整備する歴史資料館と連携し、設計・工事等に着手する予定。

⑧. 鹿嶋市歴史資料館整備事業（鹿嶋市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【未】
--------	----------------

事業概要	鹿嶋市の歴史や文化を保存・展示する施設を整備し、市民の郷土への誇りと愛着を醸成する。文化財保存活動の場となり、市内外へ伝統文化の情報発信を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（鹿島神宮周辺地区））（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	・令和2年度より、調査・設計等に着手する予定となっており、令和5年3月の完了を目指している。完了時には、約400人/12hの平休日平均歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	・令和2年度に調査・設計等に着手し、令和4年度に工事着工予定。

●目標達成の見通し及び今後の対策

計画初年度の主要事業は、順調に進捗しているため、災害等が発生しない限り、目標達成は可能だと思われる。今後は、計画に位置付けた事業を実施していく中で、効果が中心市街地全体に及ぶよう留意しながら、計画の進捗を図っていきたい。